

# いずみのひるば

2022年7月号  
日本基督教団 聖書協会  
No. 523

約束を守られる神様

創世記17章 1-8節

みなさんは約束をすることがありますね。たとえば、お友達と一緒に遊ぶ約束をすることもあるでしょうし、おうちの人と、子供の誕生日にプレゼントを買ってもらう約束もあるかもしれません。こういう約束はとても楽しみで、待ち遠しい気持ちになります。誰とする約束かということも大事ですね。大切な人との約束は、守ってもらえると信じて待つことができます。

今日のお話は、神様がアブラムさんにされた約束のお話です。アブラムさんが初めて神様にあつたとき、アブラムさんはもう75歳でした。アブラムさんには子どもがいませんでした。アブラムさんの時代の人にとって1番大事なお話は、家族をふやすことだったんですね。だから自分の子どもが1人もいないというのは、とても悲しいことだったのです。

神様は、そんなアブラムさんに、とても嬉しい約束をしてくださいました。アブラムさんに子どもができて、たくさんの子孫ができるという約束です。アブラムさんは大喜びで待ちました。

でも、約束はなかなか叶いません。1年たち、また1年たち、ついに24年も経って、アブラムさんは99歳になりました。アブラムさんは、約束は守ってもらえなかったと思い、ガツガツしていました。

神様は、またアブラムさんのところに来られて、「これからアブラムではなくアブラハムという名前にしなさいと言われました。アブラムとアブラハム、一文字違いですが、これは大きな違いがあります。アブラハムと言う名前という意味は、「世界中の人たちのお父さん」という意味なのです。

子どもが1人もいないのに、「世界中の人たちのお父さん」というのは、変ですよ。でも、神様は、アブラムさんには「神様の約束を言葉で表して信じる人」になってほしい、と願われたのです。

神様はあらためて、アブラハムさんにたくさんの子孫ができること、そして、神様が、その子孫を愛して大切にされることを約束されました。さあ、この約束はどうなつたのでしょうか？

神様はアブラハムさんとの約束を守られました。聖書にはそのことが、しっかりと書かれています。新約聖書の1ページを読むと、アブラハムさんにはたくさんの子孫ができ、ダビデ王や、なんと、イエス様につながっていくことが書かれています。神様は約束を守られるのです！

そして、アブラハムさんの子孫を愛して大切にします、という約束は、今も生きています。アブラハムさんの子どもの、その子どもの、そのまた子どもの...と世界中に広がった子孫の一人が、私たちです。そうすると、私たちも神様から愛されて大切にされているということです。

私たちの毎日、不安なこと、先の見えないことがたくさんあります。でも、神様は約束を守られる方ですから、大丈夫なのです。どんなときも神様を信じて従っていきける人になりましょう。

(おはなし 犬井 香先生)